

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

CASPER を用いた頸動脈ステント留置術の治療成績
1. 研究の対象および研究対象期間 2016年9月から2024年3月までに成人の内頸動脈狭窄症に対して頸動脈ステント留置術を行った患者さん
2. 研究目的・方法 背景：2020年9月に認可されたCASPERステントはマイクロメッシュ構造をもつステントであり、頸動脈狭窄症に対するステント留置術における周術期の plaque protrusion による合併症を軽減する可能性が期待されています。 当院では2016年治験時から使用しており、その長期成績も踏まえて報告します。 対象と方法：対象は2016年9月から2024年3月までに当院で行なったCASPERを使用した初回頸動脈ステント留置術。発症1ヶ月以内の症例、仮性閉塞、慢性閉塞、CEA後、解離病変は除外します。術中の plaque protrusion、術後MRI DWI、術後病側脳梗塞を評価し、これまでのステントに比べて有効であるかを検討します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景(年齢、性別、既往歴、内服薬、現病歴、転帰)、手術記録(術中使用器材、手術所見)、臨床検査項目(血液、生化学、X線、MRI、超音波検査)
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません
6. 研究組織 研究責任者：昭和大学藤が丘病院 脳神経外科 梅壽 有砂

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 脳神経外科 氏名：梅壽 有砂、津本 智幸

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-971-1151